

11, ツバキ科の巨木 Theaceae

■ ツバキ科の巨木は以下に分類する。

- A ツバキの巨木 C チャノキの巨木 E ヒメシャラの巨木 G ヒサカキの巨木
 B サザンカの巨木 D ナツツバキの巨木 F サカキの巨木

11-A ツバキ(椿)の巨木 ツバキ科ツバキ属 Camellia japonica

■ ツバキの巨木は以下に分類する。

- 11-A-1 分岐幹ヤブツバキの巨木 11-A-2 単幹ヤブツバキの巨木 11-A-3 銘椿の巨木



11-A-1 分岐幹ヤブツバキの巨木

■ 分岐幹ヤブツバキの巨木評価基準

- A 株周おおむね 3m 以上の分岐幹ヤブツバキの巨木。主幹はおおむね 1m 以上。
 B 株周おおむね 2m 以上の分岐幹ヤブツバキの巨木。主幹は 1m 以下。
 C B 以下の分岐幹ヤブツバキの巨木。

■ 主な分岐幹ヤブツバキの巨木

2015 年現在

評価 AA 国指定特別天然記念物級 A 国指定天然記念物級 B 都道府県指定天然記念物級 C 市町村指定天然記念物級

| 評価 | 巨木名称 | 幹周 | 樹高 | 所在地 | 天然記念物指定 |
|----|---------------------|----------------------|------|---------------|---------|
| A | 上藤又の大椿 写真 Y-001 | M3.33m(分岐 0.1m 2007) | 7m | 石川県河北郡津幡町上藤又 | なし |
| A | 老谷の大ツバキ 写真 Y-002 | M3.24m(分岐 0.3m 2016) | 7m | 富山県氷見市老谷 1249 | 県 |
| B | 秋畑の大ツバキ 写真 Y-003 | M2.6m(分岐 0.2m 2012) | 8.4m | 群馬県甘楽郡甘楽町秋畑 | 県 |

| 評価 | 巨木名称 | 幹 周 | 樹高 | 所 在 地 | 天然記念物 指定 |
|----|-------------------------|---------------------|------|------------------|-------------|
| B | 大島家のツバキ 写真 Y-004 | 株周 3.5m | 6m | 千葉県香取郡大栄町伊能四区 | なし |
| B | 正宗の大椿 写真 Y-005 | 株周 4.3m | 9m | 岡山県真庭市若代字野田福井 | なし |
| B | 大船渡の三面椿 写真 Y-006 | 株周 M3.2m(0.3m 2007) | 8m | 岩手県大船渡市末崎町字中森 | 県 |
| B | 真名子のヤブツバキ 写真 Y-007 | 株周 M3.8m(0.2m 2012) | 9.5m | 福岡県糸島市二丈福井・真名子 | なし |
| C | 観音ツバキ 写真 Y-008 | 株周 4.2m | 不明 | 愛媛県南宇和郡愛南町緑丙山出下組 | 町 |
| C | 笠野神社のツバキ 写真 Y-009 | M2.3m(分岐 0.3m 2008) | 8m | 石川県河北郡津幡町笠ヶ原 | なし |
| 枯死 | 後山都茂屋のヤブツバキ 写真 Y-010 | 3.65m(分岐幹合計?) | 8m | 島根県益田市美都町 | 町 |

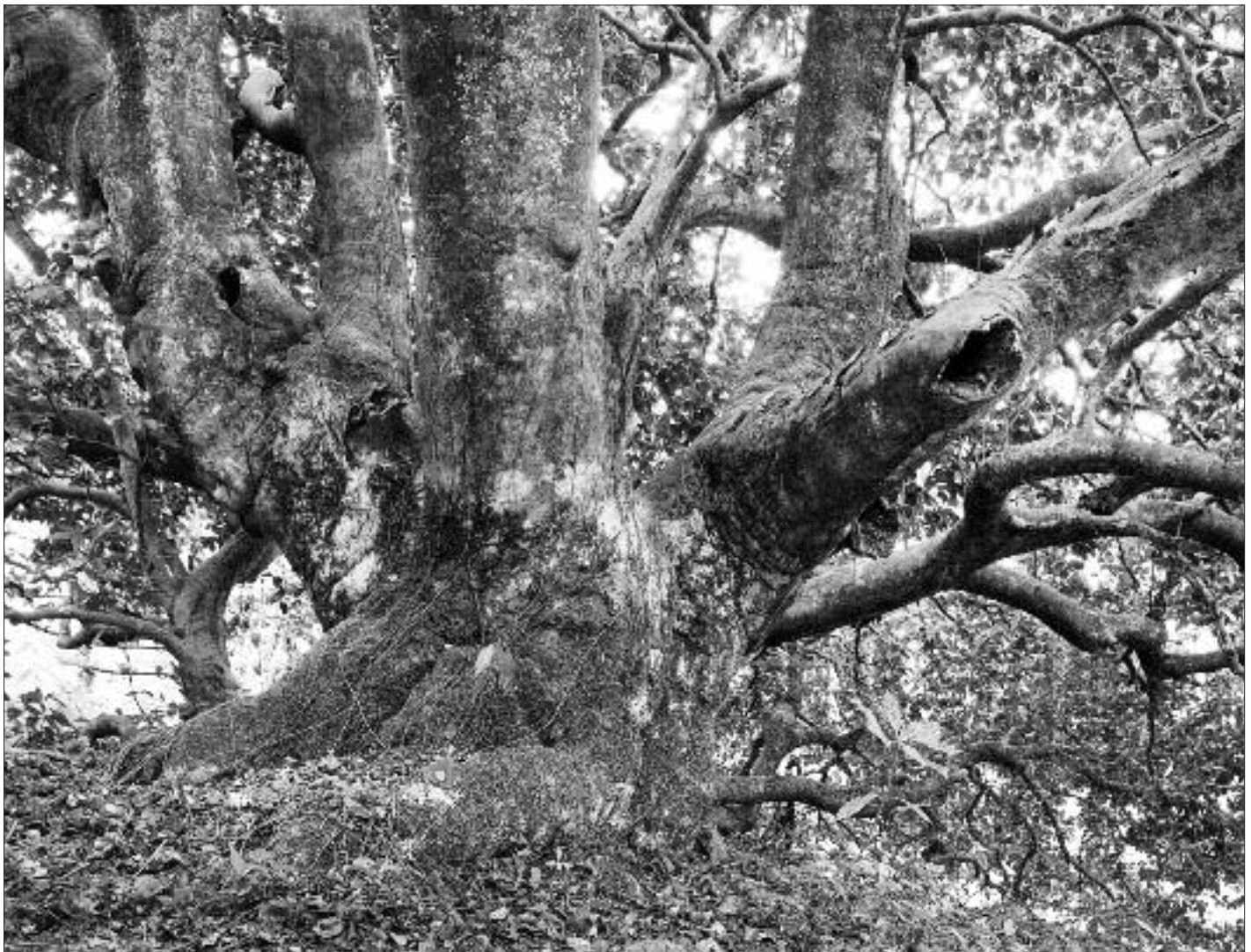


写真 Y-001 日本一のヤブツバキ かみふじまた おおつばき 上藤又の大椿

根元近くで株立ちになり、三分岐する。傍らに二分岐する幹が立上がり、根元が繋がっていけば五分岐。根元のくびれた部分の幹周は3.33m。分岐幹それぞれ1.6m、1.47m、1.68mある見事なヤブツバキ。

源平合戦で有名な倶利伽羅峠の合戦場はすぐ近く。戦死者の墓標として植えたのではないかと推察される。さすれば、樹齢800年程で、実感される年齢とほぼ一致する。この地は村の共有地ということもうなずける。4月中旬、樹下は散り椿で真っ赤に染められ、戦死者を弔うかのようである。



◀▼写真 Y-002

おいだに
老谷の大ツバキ

地上1.0mで三分岐、一本は枯死する。この樹形が刺股に似る事から、「さすまたのツバキ」とも呼ばれる。

集落から少し離れた墓所に立つ。傍らにもう一本大きなヤブツバキがあり、先端が接して巨大な樹冠を形成している。この椿には、悲運の物語が伝えられ、後世の人々の涙を誘う。4月半ば、樹下は散り椿で深紅に染められ、希有な光景が見られる。



▼写真 Y-003

あきはた
秋畑の大ツバキ

八大龍王を祀る祠の御神木。根元上部で6分岐する樹形で、分岐部で大きく広がり、堂々とした樹形。



写真 Y-004▶

おおしまけ
大島家のツバキ

大島家の屋敷の裏手に立つ分岐幹のツバキ。
(写真・渡辺典博)



写真 Y-005▶

まさむね
正宗の大椿

分岐幹が連理する樹形。
(写真・Web 画像)

▼写真 Y-006

おおふなとさんめんつばき
大船渡の三面椿

8本の株立ちで、その内2本切断され、太い幹も補修され、痛々しい。根周り8mとされるのは8本の合計周。



▲写真 Y-007

まなご
真名子のヤブツバキ

真名子集落の無住になった民家の前庭と道路の際に立つ。根元で6分岐し、多数の枝を出す。荒れている。



写真 Y-009▶

かきの
笠野神社のツバキ

神社背後の藪の中に何本かの巨木があり、最大株。



▲写真 Y-008

かんのん
観音ツバキ

(写真・Web 画像)

写真 Y-010▶

うしろやま つもや
枯死・後山都茂屋のヤブツバキ

2011年枯死する。

(写真・Web 画像)



11-A-2 単幹ヤブツバキの巨木

■単幹ヤブツバキの巨木評価基準

- A 幹周おおむね 3m 以上単幹ヤブツバキの巨木。
- B 幹周おおむね 2~3m の単幹ヤブツバキの巨木。
- C B 評価以下の単幹ヤブツバキの巨木。

2016 年現在

評価 AA 国指定特別天然記念物級 A 国指定天然記念物級 B 都道府県指定天然記念物級 C 市町村指定天然記念物級

| 評価 | 巨木名称 | 幹周 | 樹高 | 所在地 | 天然記念物指定 |
|----|---------------------------|---------------------|------|-------------------|---------|
| A | しゃくじょうかたし 写真 Y-011 | M3.02m(1.3m 2010) | 13m | 高知県吾川郡いの町上八川丙柿藪 | 県 |
| B | 夫婦椿(男木) 写真 Y-012 | M2.58m(1.3m 2008) | 8m | 滋賀県高島市マキノ町白谷 | なし |
| B | 熊野神社の椿 写真 Y-013 | M2.94m(0.5m 2007) | 11m | 愛媛県四国中央市富郷町寒川山 | 県 |
| B | 坂本の化け椿 写真 Y-014 | 2.0m | 10m | 兵庫県多可郡多可町八千代区坂本 | 県 |
| B | 善福寺の大椿 写真 Y-015 | 2.4m | 7.2m | 岡山県瀬戸内市邑久町福谷 2860 | なし |
| B | 珠洲のヤブツバキ 写真 Y-016 | M2.1m(1.3m 2015) | 6.0m | 石川県珠洲市東山中町 | なし |
| 伐採 | 長坂不動の大つばき 写真 Y-017 | 根周 2.5m(0.05m 2016) | 11m | 富山県氷見市長坂 | 県 |
| C | 桂谷の椿 写真 Y-018 | M1.77m(1.3m 2014) | 14m | 石川県加賀市桂谷 菅原神社 | なし |
| C | 春日椿 写真 Y-019 | M1.7m(1.3m 2010) | 12m | 福井県あわら市中番・下番 | 市 |
| C | 老谷の椿(大椿の隣にある) 写真 Y-020 | M1.63m(1.3m 2016) | 7m | 富山県氷見市老谷 1249 | 県 |
| C | 梅井邸の椿 写真 Y-021 | 1.5m | 10m | 大阪府南河内郡太子町 | 府 |
| C | 出原の大ツバキ 写真 Y-022 | 1.5m | 8.5m | 栃木県佐野市秋山町 | 市 |
| C | 山田のツバキ 写真 Y-023 | 1.72m | 9m | 島根県隠岐郡隠岐の島町山田 | 町 |
| 枯死 | 藤原のヤブツバキ 写真 Y-024 | 2.1m | 8m | 愛媛県四国中央市富郷町藤原 | |



◀写真 Y-012

めおとつばき
夫婦椿(男木)

少し細い女木が近くにある。2m で 2 分岐する樹形で、古木の風格がある。

写真 Y-013▶

くまの
熊野八幡神社の椿

地上 1m で 2 分岐するが、地上 3m で双方が連理しているので、単幹樹とした。社殿の右奥に立つ。





◀写真 Y-011

単幹日本一のヤブツバキ

しゃくじょうかたし

単幹で幹周がM3.02mあり、単幹日本一というヤブツバキだが、名前が変わっている。「しゃくじょう」とは錫杖で、「かたし」とはこの地方の方言でツバキのことをいう。樹形が錫杖に似ている事からこう呼んでいるという。東陽一監督の映画「絵の中のぼくの村」の舞台になったことで、一躍有名になったツバキ。入口に大きな看板があり、子供達がツバキに登って、枝の間から笑顔を覗かせている写真がある。本来、巨木と人々の関わりあいはこうだった。人々が巨木に触れられなくなったのは、寂しい事だ。



▲写真 Y-014

坂本の化け椿

坂本集落の外れ、木の柵に囲まれた中に立つ。地上2mまで単幹樹で、その上は何十本という分岐幹が出て、見事な樹冠を形成する。(写真・Web画像)

▼写真 Y-015

善福寺の大椿

一重であるが、花弁が8枚ある。
(写真・Web画像)



▼写真 Y-016

珠洲のヤブツバキ

大野氏宅に立つ単幹ツバキの巨木。(写真・坂)





▲写真 Y-017
ながさかふどう
伐採・長坂不動の大つばき

「長坂の大いぬぐす」近くに立っていたが、道路拡幅工事のため枯死し、2014年頃伐採。切株調査から樹齢約370年と判明した。1991年撮影。



▲写真 Y-018
かつらだに
桂谷の椿

菅原神社の入口、鳥居の右に立つ単幹椿。全く分岐せずまっすぐに立つ姿は異様でもある。境内には大きな椿が他に4本あり、桂谷の大杉もある巨木神社。



▲写真 Y-019
かすがつばき
春日椿

春日神社社殿背後左に立つ見事な単幹ツバキである。



▲写真 Y-020
おいだに
老谷の椿

「老谷の大椿」の隣に立つ単幹ツバキで、樹冠は接している。



▲写真 Y-021
とがいてい
梅井邸の椿

梅井邸の庭に立つ。(写真・Web画像)

写真 Y-022▶
いずはら
出原の大ツバキ
樹形の美しい単幹ツバキである。
(写真・Web画像)



写真 Y-023▶
やまだ
山田のツバキ
山田地区の個人宅の庭に立つ。(写真・Web画像)

◀写真 Y-024
ふじわら
枯死・藤原のヤブツバキ
藤原のイブキがある藤原集落の上部、茶畑の中にあつた。
(写真・Web画像)



11-A-3 ^{めいちん}銘椿の巨木

■名椿の巨木評価基準

幹周や樹齢、樹形、品種の価値等を参考にして評価する。明確な基準は出せず、ある程度の主観が入る。

■主な名椿の巨木

2015年現在

評価 AA 国指定特別天然記念物級 A 国指定天然記念物級 B 都道府県指定天然記念物級 C 市町村指定天然記念物級

| 評価 | 巨木名称 | 幹周 | 樹高 | 所在地 | 天然記念物指定 |
|----|------------------------|----------------------|------|-------------------|---------|
| A | 滝の千年ツバキ 写真 M-001 | 株周 M3.26m(0.5m 2007) | 9.7m | 京都府与謝郡与謝野町字滝 | 府 |
| B | 樅木尾の有楽椿 写真 M-002 | 株周 2.43m | 9.8m | 宮崎県西都市尾八重樅木尾 | 県 |
| B | 大福寺の五色椿 写真 M-003 | 1.8m | 8m | 愛知県豊橋市石巻西川町字城山 | 市 |
| B | 白毫寺の五色椿 写真 M-004 | 株周 1.0m(0.2m) | 不明 | 奈良県奈良市白毫寺町 | 県 |
| B | 西広寺のツバキ 写真 M-005 | 1.2m | 6.5m | 群馬県安中市安中3-21-25 | 県 |
| B | 大樹寺の有楽椿 写真 M-006 | 1.85m | 8.7m | 島根県八頭郡八頭町福地 408 | 町 |
| B | 罔勝寺のツバキ 写真 M-007 | 不明 | 不明 | 岡山県小田郡矢掛町東三成 1344 | 町 |
| B | 霊鑑寺の日光椿 写真 M-008 | 不明 | 不明 | 京都府京都市左京区鹿ヶ谷御所ノ段町 | 市 |
| C | 萬徳寺の五色椿 写真 M-009 | 不明 | 不明 | 福井県小浜市金屋町 74-23 | なし |
| C | 両足寺の五色八重散椿 写真 M-010 | 株周 1.1m | 5m | 山口県山口市鑄銭司 371 | なし |
| C | 龍口寺の白椿 写真 M-011 | 不明 | 不明 | 神奈川県藤沢市片瀬 3-13 | なし |
| C | 館ヶ浴の椿 写真 M-012 | 不明 | 10m | 山口県下関市豊田町市ノ瀬 | 市 |



◀写真 M-002

もみきお うらくつばき 樅木尾の有楽椿

有楽椿は室町時代に中国原産種とヤブツバキの交雑種として生まれたといわれている。花はピンクに紫の斑が入る美しいもの。

(写真・Web 画像)

写真 M-003▶

だいふくじ ごしきつばき 大福寺の五色椿

樹齢 350 年で、地元では「オトメツバキ」として知られる名木である。

(写真・Web 画像)





◀写真 M-001
日本一の黒椿
たき せんねん
滝の千年ツバキ

黒椿の原種といわれるヤブツバキで、花の色が赤黒い。根元で2分岐し、谷側の幹が幹周1m程。山側の幹が太く、地上0.5mで2分岐し、それぞれの幹周が1m程、全体に3分岐する樹形に見える。谷側から見ると笠形に見え、谷側に大きく枝を伸ばす樹形である。椿のある谷間には以前大和田という集落があって、椿は共有木であった。村人は皆で椿油用の実を採取していたという。昭和36年に廃村になり忘れられていたが、昭和61年、地元の椿愛好家が再発見し「千年ツバキ」として注目されるようになった。

▼写真 M-005
さいこうじ
西広寺のツバキ

「日光」という品種で、深紅の一重唐小咲きで、雄しべが小さな花弁に変化している。(写真・Web画像)



◀写真 M-004
びやくごうじ ごしきつばき
白毫寺の五色椿

本堂前に立ち、奈良三名椿の一つ。花は大輪で色は白、紅、紅白絞り等多彩。(写真・谷田元彦)



写真 M-006▶
だいじゅじ うらくつばき
大樹寺の有楽椿

大樹寺の石段の左手に立つもので、寺の門代わりをしている珍しい椿。(写真・Web画像)





▲写真 M-007

こくしょうじ
園勝寺の椿

八重咲きの真っ赤な花で、樹下が花の絨毯になることで有名な椿。(写真・Web画像)



▲写真 M-008

れいかんじ じっこうつばき
霊鑑寺の日光椿

雄しべが小さな花卉になる唐子咲き品種。(写真・Web画像)



▲写真 M-009

まんとくじ ごしきつばき
萬徳寺の五色椿

枯れてしまった国指定の天然記念物であった萬徳寺のヤマモミジが立っていた広大な庭園の片隅にある椿で、大輪、花の色は白、ピンク、紅、斑入り等様々。



▲写真 M-010

りょうそくじ ごしきつばき
両足寺の五色椿

白、赤、ピンク等の色彩豊かな五色椿。(写真・Web画像)



◀写真 M-011

りゅうこうじ しろつばき
龍口寺の白椿

日本一の白椿として有名であったが、根元近くで2分岐していた幹の一本が破損した。(写真・Web画像)

写真 M-012▶

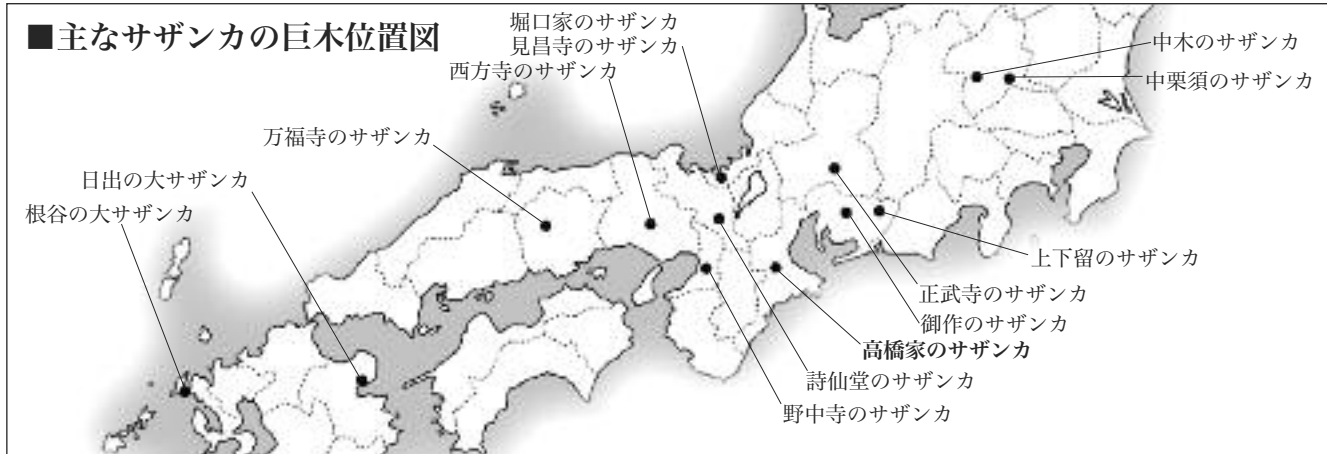
やかたがえき
館ヶ浴の椿

五色八重散椿である。(写真・Web画像)



11-B サザンカ(山茶花)の巨木

ツバキ科ツバキ属
Camellia sasanqua



■サザンカの巨木評価基準

- A 幹周おおむね 1.5m 以上、樹冠面積 100㎡以上、花付き良好なサザンカの巨木。
- B 幹周おおむね 1~1.5m、樹冠面積 50~100㎡、花付き良好なサザンカの巨木。
- C B 評価以下のサザンカの巨木。

■主なサザンカの巨木

2015年現在

評価 AA 国指定特別天然記念物級 A 国指定天然記念物級 B 都道府県指定天然記念物級 C 市町村指定天然記念物級

| 評価 | 巨木名称 | 幹周 | 樹高 | 所在地 | 天然記念物指定 |
|----|----------------------|----------------------|------|--------------------|---------|
| A | 高瀬家のサザンカ 写真 S-001 | M1.76m(分岐 0.3m 2011) | 10m | 三重県松阪市飯南町粥見 | 市 |
| B | 日出の大サザンカ 写真 S-002 | 株周 2.35m | 7.6m | 大分県速見郡日出町二の丸 日出中学校 | 県 |
| B | 御作のサザンカ 写真 S-003 | M2.2m(1.3m 2008) | 7m | 愛知県豊田市御作町 | 市 |
| B | 堀口家のサザンカ 写真 S-004 | M1.5m(1.0m 2006) | 9.7m | 福井県大飯郡おおい町神崎 | 県 |
| B | 正武寺のサザンカ 写真 S-005 | 1.9m | 8m | 岐阜県関市志津野 | 市 |
| B | 西方寺のサザンカ 写真 S-006 | 1.8m | 8.5m | 兵庫県篠山市今田町今田新田 | 県 |
| B | 中栗須のサザンカ 写真 S-007 | 1.5m | 不明 | 群馬県藤岡市中栗須 | 市 |
| B | 中木のサザンカ 写真 S-008 | 1.6m | 5.5m | 群馬県安中市松井田町五科 | 県 |
| B | 野中寺のサザンカ 写真 S-009 | 1.6m | 5m | 大阪府羽曳野市野々上 5-9-24 | 府 |
| C | 万福寺のサザンカ 写真 S-010 | 2.7m | 8m | 岡山県真庭市上山字寺家 | なし |
| C | 根谷の大サザンカ 写真 S-011 | 1.8m | 10m | 長崎県佐世保市黒島町 | 市 |
| C | 上下留のサザンカ 写真 S-012 | 0.97m | 5.5m | 愛知県北設楽郡設楽町津具字上下留 | 町 |
| 枯死 | 見昌寺のサザンカ 写真 S-013 | 根元 2分岐 1.15m・1.1m | 8m | 福井県小浜市下根来 | |
| 倒木 | 詩仙堂のサザンカ 写真 S-014 | 1.54m | 10m | 京都府京都市左京区一乗寺門口町 27 | |



▲◀写真 S-001 日本一のサザンカ

たかせけ
高瀬家のサザンカ

根元周囲は1.76mで、地上0.5mで2分岐し、太い分岐幹は1mでさらに2分岐する。これまで行なわれた分岐幹の合計周を確認してみると、実に3.01mという結果が出た(左写真)。樹勢は極めて旺盛で、枝張りが東西、南北それぞれ12m、樹冠面積140㎡もある。前面の枝は地上0.5mまで垂れて、まるで枝垂サザンカである。花付きも極めてよく、11月頃から咲始め、最盛期は下旬頃で、全体が淡い紅色の花で埋め尽くされる様は壮観である。

又、横にあるイチョウや背後の山にモミジがあり、花の最盛期にはこれらも紅葉し、色彩のコラボレーションで、見事な景観を楽しむ事ができる点も、日本一の要因になった。



◀写真 S-002

ひじ
日出の大サザンカ

日出中学校の校庭に立つ。根元近くで多数に分岐、花弁は白色で、先端が淡紅色を帯びる。
(写真・Web画像)

▼写真 S-004

ほりぐちけ
堀口家のサザンカ

堀口家の前庭に立つ。地上1.3mで4分岐する。花は一重の白色。





◀写真 S-003
みつくり
御作のサザンカ

水野氏宅の前、石垣の下に立つ。地上2mで大小8分岐し、敷地が狭く剪定をしたため、枝ぶりは小さい。花は一重のピンク。



▲写真 S-005

しょうぶじ
正武寺のサザンカ

二本あり、一本は半分枯れている。花の色は一重のピンク。(写真・Web画像)



▲写真 S-006

さいほうじ
西方寺のサザンカ

サザンカ寺とも言われる寺の境内にあり、庭木のように整えられている。(写真・Web画像)



▲写真 S-007

なかくりす
中栗須のサザンカ

田中氏所有。(写真・Web画像)



▲写真 S-010

まんぶくじ
万福寺のサザンカ

本堂の前に立つ。(写真・Web画像)

▼写真 S-008

なかぎ
中木のサザンカ

集落の中央辺り、一段高い民家の庭先、道路に乗り出すように立つ。花は一重のピンク。



▲写真 S-009

やちゅうじ
野中寺のサザンカ

(写真・Web画像)

▼写真 S-011

ねや
根谷の大サザンカ

キリシタンと深い関わりのあるサザンカ。(写真・Web画像)

